

## 男体山山行報告

【山行日】2017年 6月 18(日) 曇り時々晴れ

【集 合】 栃本市運動公園P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,900円

【メンバー】 CL:鈴木、 大久保、梶内、島田、  
田中、津佐、渡辺

【コースタイム】栃本市運動公園 P6:00=二荒山神社

P7:05/7:25~四合目 8:45/8:55~七合目 9:30~

男体山 10:50/11:40~六合目 12:40/12:50~四合目

13:20/13:30~二荒山神社 14:20/14:40=

栃本市運動公園 P15:55



栃木県の主峰「男体山」に登りたいというリクエストがあり、夏のアルプス山行のトレーニング山行第一段として男体山山行を計画した。二荒山神社前の駐車場に着き、トイレとストレッチを済ませ石段を登って境内に入る。社務所にて入山手続きをし、一人500円の志納金を納めお守りをいただく。本殿右側の登拝門をくぐり、表参道を登ると一合目遥拝所に着く。ここからは鬱蒼とした樹林帯の中の山道を登るようになる。地肌がむき出た滑りやすい道が幾筋かついていて、歩き易い道を選びながら登って行く。何組もの登山者に追い越されるが、ゆっくりと登り二合目、三合目を越え工事用の

車道に出る。ここからしばらく車道を歩き、仮社務所と鳥居がある四合目に着く。小休止しスイカをいただき水分を補給し、呼吸を整え出発する。

四合目からはまた山道になり、明るい広葉樹林の中を登るようになる。シロヤシオの花に疲れを癒され登ると、粗末な小屋が建つ五合目に着く。五合目からは薙と呼ばれるガレ場で六合目まで続いている。ゴロゴロした岩だらけのガレ場だが、高度を増すごとに眼下に広がる景色は素晴らしく、中禅



寺

湖や日光白根山が見え疲れを癒される。七合目の少し手前で17名のパーティーがおり、ペースを落して後に付く。七合目で大休止し、菓子を食べ塩飴で塩分を補給する。皆さん元気で足取りも軽そうなので、17名のパーティーの先に出させてもらう。八合目からはガレ場からシラビソの樹林帯に入り、ビニールの土嚢で固められた道を登るようになる。九合目の石の道標を過ぎると広い砂礫の斜面になり、足元がグズグズに崩れて歩きにくい。九合目から少し登った展望の良い場所で、最後の休憩を取り冷えた水ようかんをいただく。

日光白根から左に錫ヶ岳や皇海山、右には金精山から温泉ヶ岳等々が間近に見え素晴らしい。



最後の登りにかかり、一步一步登ると黒いごつごつした岩が見え、これを越えると鳥居の先に奥宮がある。奥宮に参拝してから右手に進み、東側の岩の上に大剣が建つ山頂で記念写真を撮る。大剣が建つ山頂は2486mあるが、その奥に2484.4mの一等三角点氷柱が置かれている。



山頂からの展望は素晴らしいの一言に尽きる。眼下には中禅寺湖から戦場ヶ原、女峰山、太郎山、白根山等の日光連山から燧ヶ岳から会津の山々が望めた。眺望を楽しんだらランチタイムとする。山頂の一角に廃材を利用した口の字型のベンチがあり、ここで山ご飯のキノコうどんを作る。ゼンマイの煮物やキュウリなどが並び、美味しくランチを楽しんだ。ランチが済んだら、二荒山大神像の前で記念写真を撮り下山する。このころになると周りの山々は雲の中に隠れ、中禅寺湖も見えなくな

っていた。今回は良いペースで登り、予定より早く山頂に登れたため山頂からの絶景を見ることが出来た。下山は来た道を引き返す。下りもテンポよく下り、七合目手前と四合目手前でスリップ事故があったが、大事には至らず無事に二荒山神社へ下山した。神社で無事に登頂出来たお礼をし、靴を履き替え帰路につく。一つ大きな山に登破出来、夏山に向けて大きな自信になったようだ。